



ガバメントAI 源内

ガバメントAI 源内における 「AIエージェント」利用環境の導入

2026/10/20 デジタル庁 省庁業務サービスグループ ガバメントAI実装担当（源内班）

ガバメントAI源内におけるAIエージェント利用環境の導入

- 世界的にコーディングエージェントの利用が広がり、専門知識がなくとも、自然言語（日常の言葉）による指示を通じて、プログラミング、ファイルの作成、データ分析、スキルの作成・実行、成果物の検証までを利用者が主体的に行える技術革新が進行中
- ガバメントAI源内においても本年10月以降、「AIエージェント」利用環境を導入し、チャットや定型的なAIアプリの提供にとどまらず、政府職員自らがAIエージェントを活用できるようにすることで、より一層、政府業務の省力化や質の向上の実現を目指す。

これまで（～令和8年9月）

チャット

AIアプリ

- 源内のWeb上で予め用意されたAIアプリは、文書作成、要約、翻訳等の汎用的な業務には有効
- 他方、複数ファイル、膨大なデータ及びインターネット検索を用いた連続的作業や、行政固有の判断基準を伴う審査プロセス等の業務をAIアプリで支援させるには限界

これから（令和8年10月以降、各府省庁等に順次展開）

AIエージェント利用環境

① エージェントチャット
(通常のチャットの発展形)



AIが複数工程を自律的に実行

- 通常のチャット（対話型AI）を発展させ、自然言語による指示が可能なAIエージェント利用環境^{*1}を提供
- 一度の指示で複数のタスクをまとめて自動実行でき、処理結果はファイルやドキュメントとして出力可能

② 源内工房
(個人用Webアプリ開発環境)



個人でWebアプリを開発可能

- 自然言語による操作が可能な、個人専用のAI Webアプリ開発環境を提供
- プロトタイプの開発や、複数のウェブサイトを参照・情報収集するDeep Research等が可能

③ 源内ライブラリ
(スキル^{*}等の政府横断共有)



政府横断でスキル等を共有

- 職員の経験に依存していた「暗黙知」を、再現可能な「形式知」（＝スキル）へ変換
- 作成したスキルを、組織内外で横断的に共有等することで、個人の知識を政府組織の「集合知」へと発展させるもの



より一層の業務省力化・
質の向上



各職員の業務需要に応じた
AIアプリ開発の実現



- 優良なスキルの横展開
- 業務品質の均一化
- 政府全体の行政能力向上

^{*} スキル：従来、個々の職員や部局に属人的に蓄積されてきた業務手順、判断基準、参照資料、関連データ、確認方法、出力形式、例外処理等を、AIエージェントが実行可能な形で可視化・形式知化したもの

①源内のエージェントチャット（Claude Cowork相当のAIエージェント利用環境、プロトタイプ画面）

新規チャット

マイドライブ

pdf

data

chats

ドライブ管理画面を見る

マイドライブとは

利用履歴

2026年9月25日 10:04

日英デジタル政策の比較

2026年9月17日 20:55

1から100までの合計方法

2026年9月17日 20:32

ユークリッドの互除法の実装

2026年9月16日 17:04

日本の行政の最新ニュース

ホーム > エージェントチャット

エージェントチャット

AIモデル: Claude Opus 4.8 モード: 深く推論する ① 生成AI利用時の注意事項

日英のデジタル政策を公開情報から調査し、「柱となる政策」の差異をまとめて

- ✓ スキルを有効化
- ✓ ウェブを検索 8回実行
- ✓ ファイルを読み込 内容確認 4回実行
- ✓ プログラムを実行して処理
- ✓ ファイルを作成・書き込み 2回実行

この調査は横断的な比較を行います。まず調査契約を締結してください。

調査契約

- 目的: 日英のデジタル政策の比較
- 対象: 日本（デジタル政策）
- 比較軸（暫定）: ①推進体制・ガバナンス ②デジタル政府・デジタルID ③AI政策・規制アプローチ ④データ戦略 ⑤半導体・先端産業 ⑥接続基盤（通信インフラ） ⑦オンライン安全・プラットフォーム規制 ⑧デジタル人材・包摂
- 証拠水準: 政府一次資料優先、重要主張は独立2出典以上、状態ラベル（提案/施行/開発中）と日付を付す

- 通常のチャット(対話型AI)の発展形として位置づけ
- AIエージェント利用環境として自然言語による指示が可能(専門的知識は不要)
- 複数のタスクをまとめて自動実行できる
- AIエージェントのスキルを作成可能
- 処理結果は、ファイルやドキュメントとして出力できる

追加で質問や不明点などあれば返答してみましょう（Cmd+Enterで送信／Enterで改行）

+ ^

送信

②源内工房(個人源内)のイメージ (Claude Code相当のAIエージェント利用環境、プロンプト画面)

[← 戻る](#)

課題整理メモ.md をもとに、幹部説明用に画面が遷移する試作 :

作業フォルダ ~/作業

[進捗](#)

[ヘルプチャットに質問](#)

課題整理メモ.md をもとに、幹部説明用に画面が遷移する試作を作って。①申請情報の入力画面(ロケットの諸元・打上げ施設・飛行経路の前提条件を定型の様式で入力) ②安全基準の適合確認画面(確認項目ごとに事業者の提出値と基準値を並べて表示し、未充足を色分け) ③飛行経路と落下想定範囲の地図表示+審査進捗ダッシュボードの3画面を prototype/ 配下に。数値はすべてダミーで、実際にクリックして遷移できる状態にして。

▼ スキルを実行 (file-analyzer)

▼ コマンドを実行 (Bash)

▼ ファイルを読み込み (Read)

内容を把握しました。3画面のプロトタイプを作成します。

▲ コマンドを実行 (Bash)

INPUT

```
{
  "command": "mkdir -p /home/sagemaker-user/作業/prototype && ls /home/sagemaker-user/作業/prototype",
  "description": "Create prototype directory"
}
```

- 自然言語による操作が可能(専門的知識は不要)
- 任意サイトへの直接アクセスが可能。複数のWebサイトを直接読み取りながら情報を収集・比較・統合するDeep Researchができる
- AIエージェントがファイル操作、コマンド実行、Web取得等を数十から数百ステップ連鎖させて処理できる
- 実際に動作するプロトタイプの開発ができる
- AIエージェントのスキルを作成可能
- 処理結果は、ファイルやドキュメントとして出力できる
- 他人が作成したスキルをカスタマイズ可能

メッセージを入力 (Ctrl+Enter: 送信 • Enter: 改行 • /: スキル補完 • Esc: 回答を中断)

[📎 添付するファイルを選択](#)へ

[▶ 送信](#)

[中断](#)

③源内ライブラリのイメージ（政府横断的なAIエージェントスキルの共有、デモ画面）

ガバメントAI 源内 チャット エージェントチャット AIアプリ **ライブラリ** ドライブ管理 お知らせ

サポート アカウント

ホーム > ライブラリ

ライブラリ

投稿する

AIに相談

プロンプト

ユースケース

スキル

データセット

表示するプロンプト

みんなの投稿

お気に入り

私の投稿

カテゴリ 括弧内は件数

すべて (231)

調査・リサーチ (11)

データ分析・統計・仮説検証 (14)

政策企画・立案 (7)

国会対応 (3)

審議会・委員会 (10)

法制執務、法令・規則 (10)

行政手続・処分（許認可、命令） (4)

補助金・助成金・交付金 (9)

調達・契約 (8)

計画策定、プロジェクト管理 (16)

予算要求 (7)

文書作成 (15)

要約・議事録 (12)

スライド・図表作成 (3)

翻訳・多言語対応 (13)

人事・組織管理、局議・部議 (5)

研修・人材育成 (13)

IT・システム管理 (11)

広報・情報発信 (18)

プロンプトをタイトル・説明で絞り込む

Q

並べ替え

公開日が新しい順

231件のプロンプト

既存分類にない新規業務の分類設計を行うプロンプト

0 0

お気に入り

説明 このプロンプトは、既存の業務分類のどれにも当てはまらない依頼・相談が繰り返し発生している状況を整理し、新しい分類軸・カテゴリの提案を作成するために使用します。

詳細を見る

カテゴリ

その他

ライセンス

CC BY 4.0

すぐに使う

公開日

2026年10月14日

庁内公募・横断チームメンバー募集要領を作成するプロンプト

0 0

お気に入り

説明 このプロンプトは、部署横断のプロジェクトチームを庁内公募で編成する際の募集要領を作成するために使用します。

詳細を見る

カテゴリ

その他

ライセンス

CC BY 4.0

すぐに使う

公開日

2026年10月14日

複数部署が保有する類似システム・ツールの重複投資を点検するプロンプト

0 0

お気に入り

説明 このプロンプトは、複数部署がそれぞれ個別に導入しているシステム・ツールの一覧を分析し、用途の重複や統合検討の余地を点検するために使用します。

詳細を見る

カテゴリ

その他

ライセンス

CC BY 4.0

すぐに使う

公開日

2026年10月14日

複数部署への問合せを集約した職員向けFAQ初稿を作成するプロンプト

0 0

お気に入り

説明 このプロンプトは、複数部署がそれぞれ個別に受けている似た問合せをまとめ、職員向けのFAQ初稿を作成するために使用します。

詳細を見る

カテゴリ

その他

ライセンス

CC BY 4.0

すぐに使う

公開日

2026年10月14日

複数部署から集まった改善提案・ヒヤリハットを分類整理するプロンプト

0 0

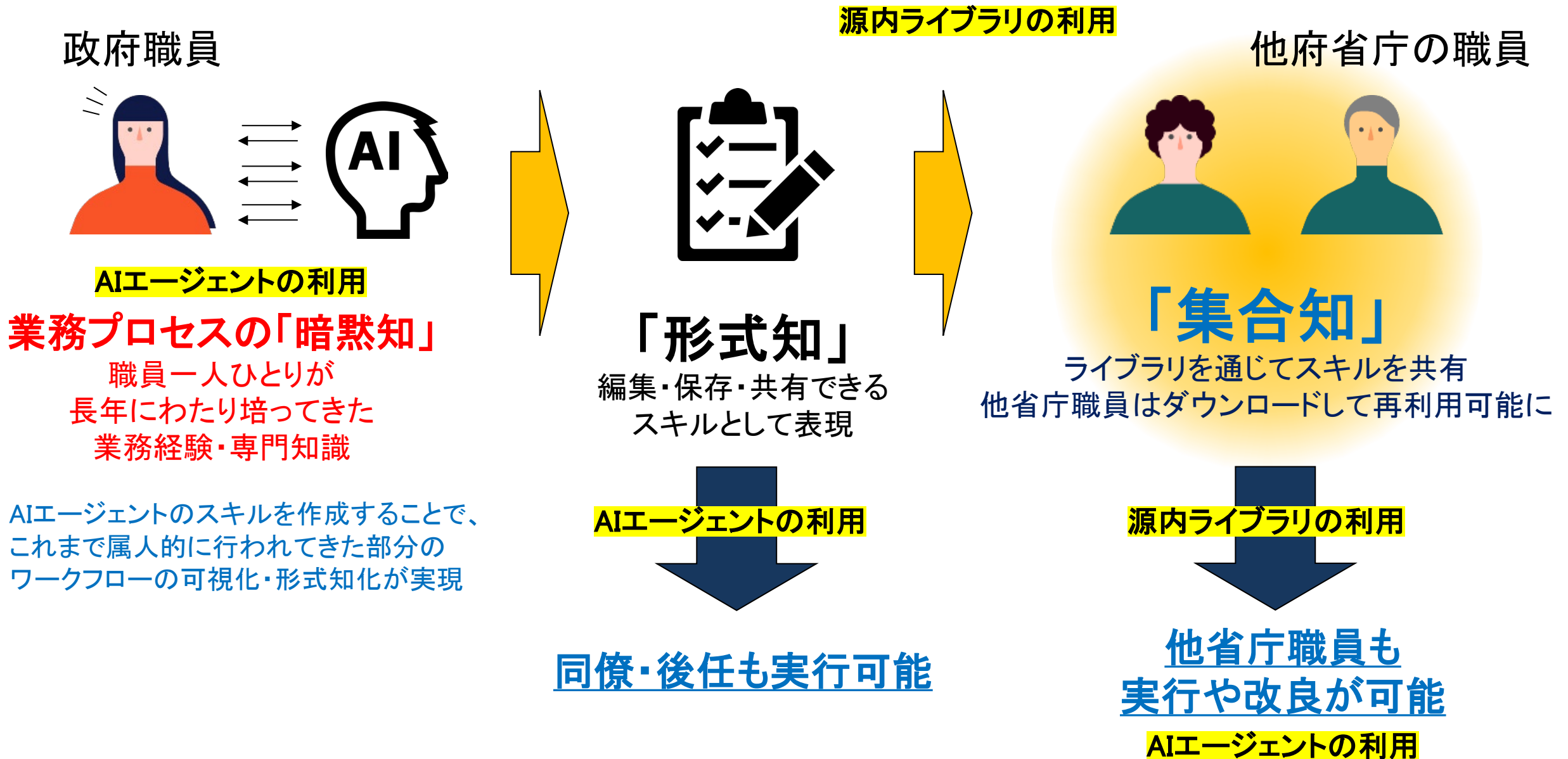
お気に入り

説明 このプロンプトは、複数部署から寄せられた業務改善提案やヒヤリハット報告を、テーマ別に分類整理するために使用します。

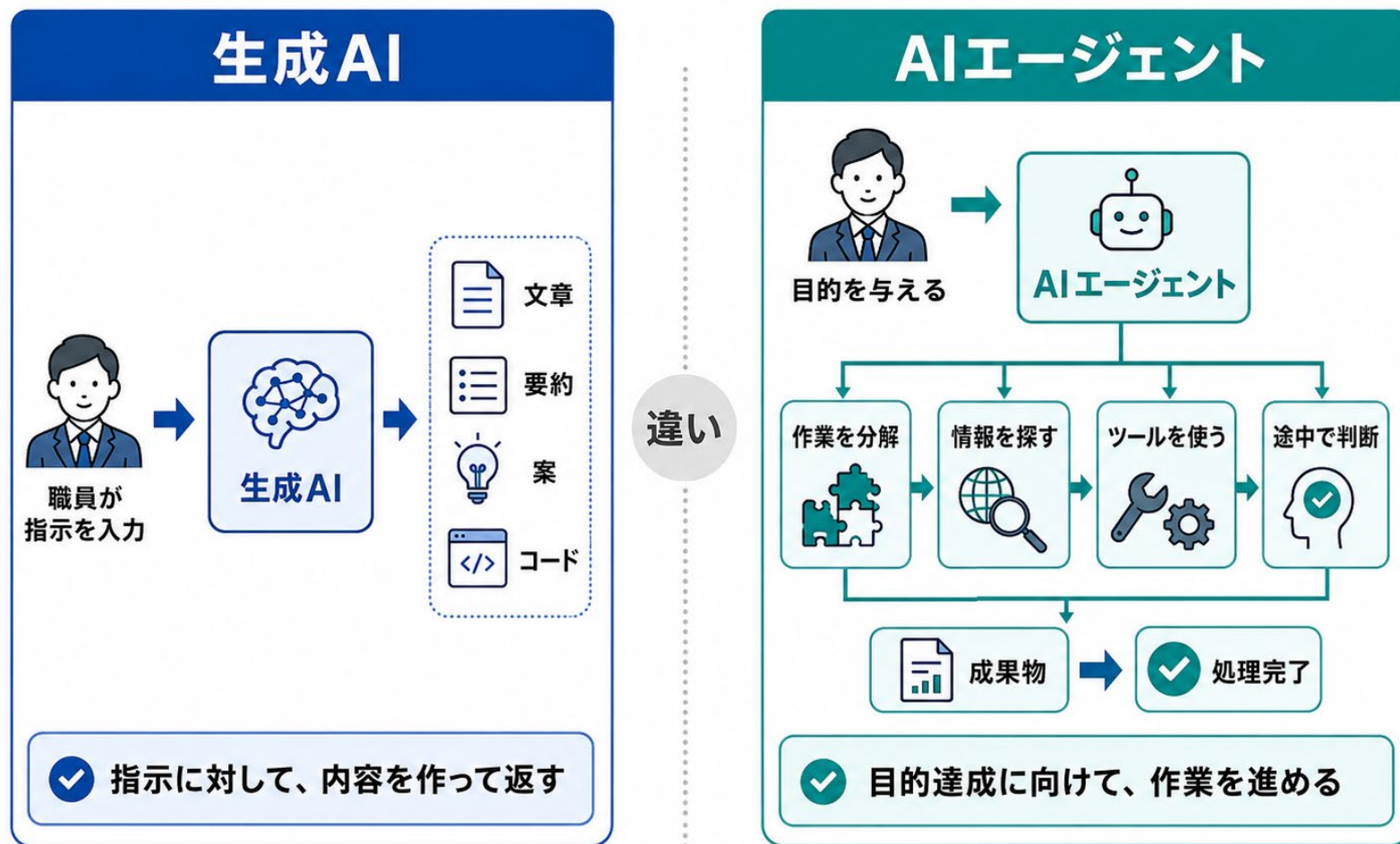
詳細を見る

- 職員がAIエージェント用のスキルを自由に共有・入手できる

AIエージェントの利用により政府全体の能力を強化するイメージ



(参考①) 通常の生成AIとAIエージェントの違い



生成AI = 答えを作るAI
AIエージェント = 仕事を進めるAI

(参考②)ガバメントAI源内におけるAIエージェント導入方針(抜粋)

◆ 第Ⅱ期人工知能(AI)基本計画(2026年7月14日閣議決定)(抄)

第3章 AI関連技術の研究開発及び活用の推進に関し、政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策

第1節 AI利活用の加速的推進 (前略)

社会全体でAIを利活用するに当たり、「隗より始めよ」の観点から、政府自らが積極的かつ先導的に利活用する。本府省庁を中心とする政府職員に対し、生成AI利用環境「源内」が展開された。特定の事業者や基盤モデルに過度に依存することなく、安全・安心に選択、運用できる「AI主権」を体現するものとして展開し、地方支分部局への拡大を含めて、政府職員による創造的かつ自律的なAI利活用を広く促進する。

これを起点に、政府において、AIを前提に業務や組織を再構築するAXを強力に推進する。あわせて、政府による適正な調達・利活用を先導的に行うことで、日本社会で利活用されるAIの信頼性及び透明性の確保につなげる。

【具体的な取組】

(1) 政府・自治体でのAIの徹底した利活用

- ① 政府業務における生成AIについて、エージェント型AIの導入や国内で開発されたAIモデルの積極活用も含めたガバメントAI「源内」を推進し、戦略的な利活用を進めるとともに、AIエージェントに対応するルール作りを進め、適切な利活用並びに業務の質の向上及び効率化を推進する。「源内」のオープンソース化の取組を通じて自治体のAI導入支援を進める。【◎デジタル庁、全省庁】

◆ デジタル社会の実現に向けた重点計画(2026年7月21日閣議決定)(抄)

4. 取組の方向性と重点的な取組

(1) 国のAX/DX基盤の高度化・強靱化

② 政府におけるAX/DX推進

ア「ガバメントAI(源内)」の推進

- 社会全体でのAI利活用の加速的推進に資するため、政府自らが生成AIを積極的かつ先導的に利活用する。令和7年度にデジタル庁が内製開発した生成AI利用環境「源内」について、令和8年度は全府省庁対象の実証事業を着実に推進し、行政業務におけるAI利活用による費用対効果、他の商用LLMとの性能上の比較、国産AIモデルの積極活用を通じた我が国のAI基盤の自律性確保への貢献などを検証した上で、令和9年度以降の本格利用開始を検討する。

- 政府職員において、専門的知識がなくともAIアプリを作成し、AIエージェントによる自動実行や共有が可能となる環境を令和8年度中に源内上に整備するとともに、利用に関する管理ルールを策定する。

デジタル庁

Digital Agency